

オーストラリア学会報

Australian Studies Association of Japan

第41号

2004年5月8日

<http://pweb.sophia.ac.jp/~s-yuga/asaj2/>

1. 第15回(2004年度総会)全国研究大会のご案内

開催日:平成16年6月12日(土)、13日(日)

場 所:大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立民族学博物館
(大阪府吹田市千里万博公園 10-1 URL: <http://www.minpaku.ac.jp/>)

電話:06-6876-2151(代) / FAX:06-6878-7503

担当:民族社会研究部 松山利夫 会員

研究大会・総会会場:第4セミナー室

交通アクセスについては、別添の案内をご参照ください。
ことに大阪モノレールをご利用の方は注意が必要です。

6月12日(土) 第1日目

10:30 - 12:30 受け付け(受け付け手続き終了後、開会まで常設・特別展示 自由観覧)
*特別展示「多みんぞくニッポン」

10:30 - 11:30 理事会(第6セミナー室)

12:30 - 12:50 開会 司会 橋本雄太郎(杏林大学)

12:30 - 12:40 開会挨拶 谷内 達(東京大学) オーストラリア学会代表理事

12:40 - 12:50 国立民族学博物館館長挨拶

13:00 - 15:00 特別講演(英語) 司会 窪田幸子(広島大学)

13:00 - 13:40 特別講演 「現代アボリジナル文化」 Djon Mundine 氏

13:40 - 15:00 質疑応答

15:00 - 15:30 休憩(第3セミナー室)

15:30 - 18:00 シンポジウム 司会 鎌田真弓(名古屋商科大学)

「オーストラリア史を展望する 『白人』、先住民、そしてアジア人からの視点」

「白人」 藤川隆男(大阪大学)

「アジアから」 関根政美(慶應義塾大学)

「日本から」 村上雄一(福島大学)

「先住民」 松山利夫(国立民族学博物館)

18:20 - 20:00 懇親会(民博レストラン)

アボリジナル楽器ディジュリドゥ演奏(予定)

6月13日(日) 第2日目

9:30 - 10:00 受け付け

10:00 - 11:00 一般個別研究報告 司会 安藤 充(愛知学院大学)

「アボリジニ演劇にみる記憶の再構築: Jack Davis の *Kullark* の場合」
佐藤 渉(立命館大学大学院)

「アボリジニ・コミュニティの自治: マニングリダを事例として」
鎌田真弓(名古屋商科大学)

11:00 - 12:00 一般個別研究報告 司会 橋本雄太郎(杏林大学)

「シティズンシップ論争と教育: 『デモクラシーの発見』プログラムの事例から」
飯笹佐代子(総合研究開発機構)

「あなたについてどこまでも、でもなぜ?: ハワード政権の対外政策における国内要因」
杉田弘也(神奈川大学)

12:00 - 13:30 昼食&館内展示観覧 / 理事会(第6セミナー室)

12:30 - 12:50 第1回「アボリジニ」展示解説・案内(久保正敏教授)

13:00 - 13:20 第2回「アボリジニ」展示解説・案内(久保正敏教授)

13:30 - 14:00 総会

14:00 - 16:00 「アボリジナル 民族誌」映画上映
解説 松山利夫(国立民族学博物館)、ジョン・マンディーン

16:00 - 16:10 閉会挨拶 谷内 達(東京大学) オーストラリア学会代表理事

宿泊先について

恐れ入りますが、宿泊は各自で確保願います。

学会当日の昼食について

館内民博レストランは、12日(土)には通常営業、13日(日)には特別営業で、両日ともご利用になれますが、週末のため混雑が予想されます。できるだけ各自で弁当をご用意ください。弁当をお召し上げの際には休憩室(ティールーム)をご利用いただけます。

大会・学会費納入について

全国研究大会参加の有無にかかわらず同封の返信用葉書に必要事項をお書き込みのうえ、5月25日までにご投函ください。

懇親会費は4,000円程度を予定していますが、多少変動することがあるかもしれませんので、その節はご容赦ください。懇親会費は当日大会受付で申し受けます。なお、懇親会への参加は必ず同封の返信用はがきでお知らせくださるようお願いいたします

会費未納の方は、同封の振込用紙で納入されるか、大会当日会場受付でお支払いください。年会費は5,000円です。

喫煙は、喫煙コーナーでお願いします。但し、特別展示館内は禁煙です。ご協力願います。

2004 年度オーストラリア学会全国研究大会
報告者および報告要旨

佐藤 渉（立命館大学大学院文学研究科博士課程）

「アボリジニ演劇にみる記憶の再構築：Jack Davis の *Kullark* の場合」

Jack Davis は、アボリジニ文学の歴史において創作が啓蒙的役割を強く担っていた時代の作家である。彼は歴史を下敷きにして民族の記憶を再構築し、集団のアイデンティティ強化に貢献した。記憶を再演、継承する儀礼の場が失われ、伝統的な言語から断絶された同時代のアボリジニにたいして、演劇という形式を用いて失われた記憶をフィクショナルに再現してみせたのである。*Kullark* における歴史と記憶の表象を検証し、その現代的意義を明らかにしたい。

鎌田真弓（名古屋商科大学）

「アボリジニ・コミュニティの自治：マニングリダを事例として」

本報告では、北部準州アーネムランドにあるマニングリダを事例として、アボリジニ・コミュニティの self-determination の枠組みを明らかにする。特に、パウイナンガ・アボリジナル組合のアウトステーション支援、インフラ整備、雇用創出、スモールビジネス、ランドマネジメントへの参画などの活動に注目して、様々な自律支援制度を巧みに利用して自治を模索するアボリジニ・コミュニティの現状を呈示するとともに、主流社会の政治制度に深く組み込まれ、結果的には強い干渉を受けて変容する「伝統的」アボリジニ社会の様相を考察したい。

飯笹佐代子（総合研究開発機構）

「シティズンシップ論争と教育：『デモクラシーの発見』プログラムの事例から」

シティズンシップ教育は、オーストラリアにおける近年のシティズンシップ論争において主要な政策課題のひとつとなっている。本報告では、1999年に全国的に公教育のカリキュラムに導入された「デモクラシーの発見 *Discovering Democracy*」プログラムの事例を通じて、政府が構想するシティズンシップ像を、主として文化的多様性との関わりに注目しながら検証し、そこで描かれる「シティズン」や「ネイション」、「ステイト」の意味を考察する。

杉田弘也（神奈川大学・青山学院女子短期大学）

「あなたについてどこまでも、でもなぜ？：ハワード政権の対外政策における国内要因」

1996年3月のハワード政権発足以来、オーストラリアの対外政策は大きく変化したと見られている。この発表は、オーストラリアの対外関係に実際にどのような変化が起きたかを概観し、その理由を探っていく。この論文は、ハワード政権が政権維持を目的に、ポーリン・ハンソンのワン・ネイション党に奪われた支持を回復するために執った国内政治上の政策を、その変化のひとつの原因との仮説をたて、考察していきたい。

2. 『オーストラリア研究』第17号投稿募集

『オーストラリア研究』第17号(2005年1月発行予定)に掲載する論文を募集します。
締め切りは2004年8月末日。詳細は最近号掲載の「投稿要領」をご覧ください。

投稿・連絡先：オーストラリア研究編集委員会

〒252-8510 藤沢市亀井野 1866 日本大学生物資源科学部 小林 信一

: 0466-84-3656 Fax: 0466-80-1178 E-mail: kobayashi@brs.nihon-u.ac.jp

3. 『オーストラリア研究』研究文献目録掲載のお知らせ

第12号以降、会員の研究文献目録を継続して掲載しております。引き続き会員の協力をお願いします。発表された著書、論文、報告書、翻訳などのなかから、オーストラリア学会の趣旨に係る目録未掲載の研究文献を選び、お知らせください。

編集作業の都合上、電子メール(またはテキストファイルを含んだFD)をご利用ください。

[記入例]は第15号(2003.3)を参照し、掲載書式に必ず準じる形でお送りください。

締め切りは2004年10月30日(期日厳守)

連絡先：オーストラリア研究編集委員会

〒252-8510 藤沢市亀井野 1866 日本大学生物資源科学部 小林 信一

: 0466-84-3656 Fax: 0466-80-1178 E-mail: kobayashi@brs.nihon-u.ac.jp

なお、受信した旨をお知らせするメールが必ず返信されますので、ご確認ください。

〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758 桜美林大学国際学部 福嶋輝彦研究室気付
オーストラリア学会事務局 : 042-797-2661(代) / 042-797-9467(直)
FAX : 042-797-2743

E-mail: terryf@obirin.ac.jp 2002年より事務局住所が変わりましたので、ご注意ください

会費振込先：00190-3-157063 加入口座名：オーストラリア学会

本会報は学会記録以外に、会員のご意見やご要望を掲載します。意見、著書、新刊、訳書、投稿など、事務局または会報担当理事(鈴木、<mailto:HAF00025@nifty.ne.jp>)までお送りください。

[編集担当：朝水宗彦(立命館アジア太平洋大学)・田澤佳昭(道都大学)]